

東名高速道路上り線日本坂パーキングエリア内の枕状溶岩

著者	久保田 実
雑誌名	静岡地学
巻	95
ページ	i-iii
発行年	2007-06-22
出版者	静岡県地学会
URL	http://doi.org/10.14945/00024800

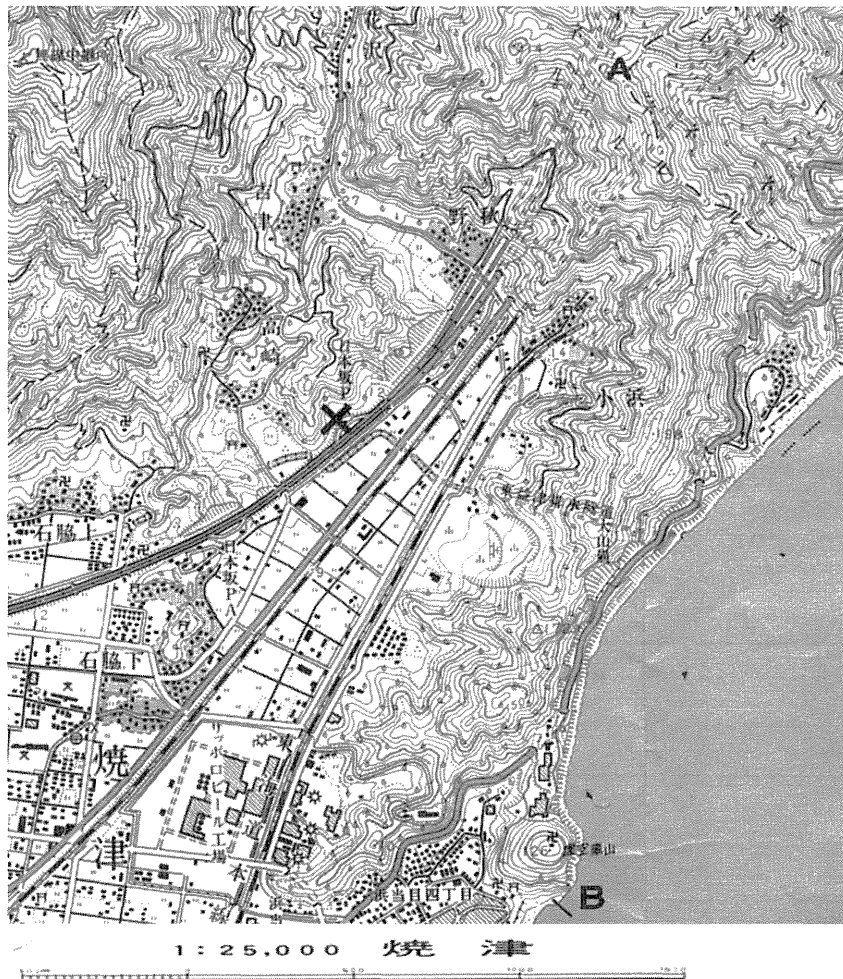
東名高速道路上り線日本坂パーキングエリア内の 枕状溶岩

久保田 実

地学散歩 (75)

東名高速道路上り線の焼津ICと静岡ICの間に日本坂パーキングエリアがある。この日本坂パーキングエリアに数十個の枕状溶岩が配置されている。大きさは50 cmから100 cm位で表面はやや風化して枕状の構造の割れ目に凝灰質泥岩が入っている。中には風化でぼろぼろに砕けてしまったものもあるがパーキングエリア北東側のトンネル入り口付近上方の山腹や南東の焼津市浜当目にある枕状溶岩は塊状で構造がはっきりしている。

ここの枕状溶岩は平成15年頃に作られた近くの日本坂トンネルの工事現場から運ばれたものという。



×：日本坂パーキングエリア。A：日本坂トンネル。B：浜当目の枕状溶岩露頭。

1. 日本坂パーキング入り口
左側の枕状溶岩.



2. 日本坂パーキング入り口
左側の枕状溶岩.

3. やや塊状の枕状溶岩.





4. 凝灰質砂岩が多い枕状溶岩.



5. 日本坂パーキング出口
右側の枕状溶岩.



6. 日本坂パーキング出口
右側の枕状溶岩.